

各位

東大阪宇宙開発協同組合
理事長 杵本日出夫

小型人工衛星「まいど1号」運用終了のお知らせ

平素より当組合のプロジェクトに格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 21 年 1 月 23 日に JAXA 種子島宇宙センターから H-IIA15 号機で温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT) と相乗りで打ち上げられた「まいど1号」は、全ての実験を概ね成功裡に完了することができ5月末をもって定常運用を終了し、その後の後期運用フェーズでは主にアマチュア無線による運用を大阪府立大学の学生達が行ってきましたが10月10日12時43分33秒(JST)に停波し、運用終了を確認致しました。

運用終了に伴い、衛星内部の電源を遮断しすべての機能が停止しました。



アマチュア局管制室(大阪府立大学)



S-BAND管制室(JAXAつくば宇宙センター)

■ 後期利用フェーズ

- スピンアップホイールテレメトリ取得 【正常】
内部温度、気密状態共想定範囲内
- アマチュア無線系・府大 太陽センサ 【正常】
2009. 7. 22 12:24 ~ 皆既日食時の観測

【お問合わせ】 東大阪宇宙開発協同組合 事務局 (担当: 野田・松岡)

TEL:06-6747-8081 / FAX:06-6747-8095